

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地域振興センター管理事業			130205	担当課	大江支所	
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	84	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都丹後鉄道大江駅の機能を有する施設の特徴を活かし、大江地域を訪れる方々へ大江地域の魅力を発信する施設としての機能を高める。						
	対象者	大江駅利用者	対象者数	50,000	一人当たりコスト	0.10		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 大江観光(株) アムセキュリティーサービス(株)						
	事業概要	地域振興センターの運営管理に係る経費。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		電気料 水道料			975	
委託料		清掃業務 警備業務 消防設備点検業務			831			
役務費		損害保険			8			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,394	2,604	2,520	1,835	
		補正予算等・・・②		△ 178	△ 268	0		
	繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		1,356	1,720	1,895		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		860	616	625	419	
		特定財源名称 (H29実績)	地域振興センター占有者負担金		296	雑入	46	頁
		自動販売機設置貸付収入		86	土地建物貸付収入	30	頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.18/0	0.33/0	0.33/0	/		
	概算人件費・・・④		1,440	2,640	2,640			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,656	4,976	5,160			
執行状況	執行額・・・⑥		1,827	1,814				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		82.4%	77.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		大江駅周辺イベント回数	回	3/3	3/3	/3	/3	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		大江駅乗降者数	人	34,634/50,000	34,634/50,000	/50,000	/50,000	
		単位あたりコスト		0.1	0.1			
		単位あたりコスト		0.0	0.0	/		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	京都丹後鉄道大江駅の機能を有している。大江観光(株)、福知山商工会を置くことにより、大江を訪れる方々にきめ細やかな対応が期待できる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	大江観光(株)は占用割合に応じた施設管理費の負担をしている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	観光客の増加及び大江地域の観光等の産業が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	現在の事業規模で継続的に実施。	
	今後の課題及び方向性	当該施設は京都丹後鉄道大江駅の機能を有するため、不可欠な施設である。関係課及び関係団体と連携し、大江地域の鉄道の玄関口としての賑わいの創造と京都丹後鉄道の利用者を増加させる政策が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> ・貸付料の徴収のいかんに関らず、光熱水費と委託料を通常の賃貸でいうところの管理費、共益費とみなして、案分することが急務 → 適切な根拠を設けて、相手方との調整にすぐに入ること		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p style="text-align: center;">内 容</p> 地域振興センター管理にかかる経費について過去の実績額を精査し、適切な根拠による施設使用者負担について検討を行い、平成30年度末までに使用者と協議を行う。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三和荘等施設管理運営事業 (130207)			担当課	三和支所		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	水谷 由紀		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	84	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	指定管理施設運営に関する経費を計上し、指定管理がスムーズに運営されるよう事業を実施する。指定管理委託をしている三和荘等に対する指定管理業務委託料を支出し、三和地域の中心施設として地域振興、観光、住民の交流・福祉増進を進め、活気あるまちづくりにつなげるべく、健全な施設運営を図る。						
	対象者	施設利用者	対象者数	150,000	一人当たりコスト	0.23		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 三和荘運営共同体 (代表団体:特定非営利活動法人丹波・みわ)						
	事業概要	マイクロバス車検、修繕、三和荘ガスヒートポンプフロン排出規正法に基づく定期点検業務、建物共済、排水路土地借上料、自動車重量税に係わる経費及び指定管理業務委託料の支出						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
		委託料	三和荘等公の施設運営に関する指定管理業務委託料			30,745		
需用費		マイクロバス修繕費			476			
役務費		マイクロバス車検整備費			319			
公課費		マイクロバス自動車重量税			44			
関連事業	三和荘基幹整備設備改修事業(三和支所)							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	1,209	30,865	30,828	31,404		
		補正予算等・・・②	△ 173	793	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	31,404		
	財源内訳	一般財源	1,036	31,658	30,828	0		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他特財	0	0	0	0		
		特定財源名称(H29実績)				頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.09/0	0.43/0	0.43/0	/		
		概算人件費・・・④	720	3,440	3,440			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		1,756	35,098	34,268				
執行状況	執行額・・・⑥		900	31,618				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		86.9%	99.9%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		宿泊者数		5,876/7,000	4,454/7,000	/7,000	7,000	
		利用者数	人	148,615/150,000	135,245/150,000	/150,000	150,000	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		三和荘マイクロバス法定点検	回	3 / 3	3 / 3	/3		
		単位あたりコスト		300.0	10,539.3			
情報発信(丹波みわの発行等)	回	/	12 / 12	/				
単位あたりコスト			2,634.8					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・三和荘の施設運営に係わり、マイクロバス等の修繕、点検等は必要な経費である。 ・利用者の交通手段、建物の管理等に係る事業として優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・光熱費の削減努力等、経営努力が伺える。 ・コスト比較より安価になるよう工夫している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・施設規模やイベント等から利用者の実績等は適切と言える。 ・同等施設の研究等、日頃より努力が見える。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	計画的に毎年実施している三和荘の運営に係わる事業として、一定評価できる。マイクロバスについては今後、老朽化に対応するための買い替え時期等も検討していく必要がある。 三和荘のPR活動は市内外、各団体、新聞記事での掲載、個別の営業活動等、精力的な営業活動が行われている。また、季節の食事コースや合宿向けの内容等常に変化を加え、結果、毎年15万人近い利用者実績となっており、一定の評価ができるものである。	
	今後の課題及び方向性	建物共済や土地及び建物の借上げに係わる経費については運営上必要なものであり、継続して実施していく。 施設の運営管理に関しては老朽化の問題がある中で、毎年、計画的な点検等を実施していく必要があり、指定管理者においては不要不急の経費削減に努め、市としては指定管理者と連携し、地域の交流施設として指定管理料を含め支援していく。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	指定管理施設運営に関する経費及び指定管理委託料を計上し、指定管理がスムーズに運営されるよう事業実施する。三和荘等指定管理委託の長期継続契約5年の最終年度、約600千円の増	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三和荘基幹設備整備改修事業 (130208)			担当課	三和支所		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	水谷 由紀		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	84	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の継続的で効果的な施設運営を確保するため、施設や備品の改修、修繕整備を行い、利用者の満足度の向上と集客の確保を図る。						
	対象者	施設利用者	対象者数	150,000	一人当たりコスト	0.21		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 株式会社伊藤・梅原建築設計事務所						
	事業概要	指定管理委託している三和荘及び関連施設の円滑な運営を行うため、行政側で行うべき施設の改修及び修繕等を行う。 浴場等三和荘関連施設の修繕、ガスヒートポンプ改修工事、建築設備の定期検査報告、備品の購入経費。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		工事請負費		ガスヒートポンプ工事費			25,996	
		需用費		ガスヒートポンプ修繕費			2,950	
備品購入費		三和荘厨房食洗機用ガスブースター交換購入			298			
委託料		特殊建築物定期調査報告委託			270			
関連事業	三和荘等施設管理運営事業(三和支所)							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		6,802	32,870	1,200	32,575	
		補正予算等・・・②		0	△ 3,210	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		2,252	60	300	9,195	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	29,100	0	20,900	
		その他特財		4,550	500	900	2,480	
		特定財源名称 (H29実績)		三和荘基幹設備整備改修事業(過疎対策債)		25,900	市債	48 頁
			地域振興施設維持補修基金繰入		2,458	基金繰入金	38 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.43/0	0.27/0	0.27/0	/	
		概算人件費・・・④		3,440	2,160	2,160		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			10,242	31,820	3,360			
執行状況	執行額・・・⑥		6,227	29,514				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		91.5%	99.5%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		宿泊者数	人	5,876/7,000	4,454/7,000	/7,000	7,000	
		利用者数	人	148,615/150,000	135,245/150,000	/150,000	150,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		修繕及び改修等件数	件	13 / 7	8 / 3	/ 1	5	
		単位あたりコスト		479.0	3,689.3			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・三和荘の施設運営に係わり、館内及び施設修繕等の経費であり、必要な経費である。 ・基本協定により、経費負担を分けている。 ・利用者の為の施設運営を行う上で優先度は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・光熱費の削減努力等、経営努力が伺える。 ・コスト比較より安価になるよう工夫している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・施設規模やイベント等から利用者の実績等は適切と言える。 ・同等施設の研究等、日頃より努力が見える。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	指定管理委託をしている三和荘及び関連施設の継続的で効果的な施設運営を確保するため、施設や備品の修繕整備を行い、利用者の満足度の向上と集客の確保を図る。	
	今後の課題及び方向性	施設の劣化による緊急の修繕対応と多発化が課題。修繕計画のもと優先順位を判断し、指定管理者との密接な連携が不可欠。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	指定管理委託している三和荘及び関連施設の円滑な運営を行うため、行政側で行うべき施設の改修及び修繕等を行う。 施設の老朽化に伴う改修については、常に緊急性、優先順位等を判断し、フルコストや収益性の状況も踏まえつつ、できる限り負担が抑えられるよう努力していくとともに、お客様サービスの低下につながる不測の事態に対応するため、施設の修繕、施設等の改修工事及び施設備品の更新を行う。 特に耐用年数を超えた施設や設備を計画的に更新する必要がある。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備事業 130235			担当課	大江支所		
	開始年度	平成27(2015)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	86	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	丹後天橋立大江山国定公園第1種特別地域に指定された奇岩で有名な二瀬川渓流や参勤交代で使用された石畳が残る旧宮津街道の魅力を広く知ってもらうため、散策路、誘導看板の整備をすることにより多くの観光客にその魅力を体感してもらう。						
	対象者	市民及び観光客	対象者数	150,000	一人当たりコスト	0.20		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	二瀬川渓流の散策路の安全性を高めるため、橋梁の整備を行う。 H27 委託料:橋梁基本設計 8,713,440円 H28 委託料:橋梁実施設計 8,449,920円 工事請負費:41,075,640円(橋梁架設工事) H28~H29債務負担行為で実施 H28は前金払い(40%)支出 15,700,000円 H29支出 25,375,640円						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		工事請負費		橋梁架設工事			25,376	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算...①		26,612	27,000		0	
		補正予算等...②		0	0	0		
		繰越し等...③		0	0	0		
		財源内訳	一般財源		112	0	0	
			国支出金		0	0	0	
			府支出金		0	0	0	
			地方債		26,500	27,000	0	
			その他特財		0	0	0	
	特定財源名称(H29実績)		エンジョイプログラム二瀬川散策コース整備(過疎対策)		25,300	市債	48 頁	
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.4/0	0.38/0	0/0	/	
概算人件費...④		3,200	3,040	0				
総事業費(①+②+③+④)...⑤			29,812	30,040	0			
執行状況	執行額...⑥		24,150	25,376				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		90.7%	94.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		進捗率	%	40/100	100/100			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		進捗率	%	40/100	100/100	/		
		単位あたりコスト		-	-			
		発注件数	件	2/2	1/1	/		
単位あたりコスト		12,075.0	25,376.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	二瀬川散策路は、新童子橋(吊橋)からの眺望を楽しむ観光客が多く、恒久橋として架設することにより、歩行者の安全確保ができ、観光客の継続的な集客ができる。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	既存のものは、利活用し修繕をするなど省力化を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	大江山、大江山グリーンロッジ(宿泊)、二瀬川溪流、元伊勢内宮皇大神社とネットワークを組むことで、点から線への観光客の導線を生み出す必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成30年度以降は散策路の維持管理となる。		
	今後の課題及び方向性	大江地域は森の京都と海の京都の両方に位置づけられており、特に大江山から元伊勢内宮にかけての地域は、今後観光面での展望が特に期待できる区域であり、集客性もあることから、維持管理を継続する必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価(庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・測定結果の公表が環境省のHPや地元自治会への報告のみとなっているが、市HPへの掲載も必要かと感じた。幅広く周知してはどうか</li> <li>・整備されたコースを職員や教育委員会などの関係各所にも周知し、庁内での活用を促すことも需要となってくるのではないかと思います</li> <li>・今後は観光客入込客へ当事業が影響しているかの把握、また当散策コースのPRを徹底されたい。</li> <li>・とても魅力的な景観を保ちながらのコース整備をされ終了された事業であると感じました。今後は観光とタイアップして魅力を発信し、観光客の増加に努めてください。</li> <li>・コストに見合った利用を促せるよう広報や取り組み等を実施していくべきである。</li> <li>・観光目的の橋りょう整備ということだが、入込客数の把握ができない点が残念。ここに立ち寄るツアーの数、ネットでの『いいね!』の数など、代替の指標を立てて大江山関連、グリーンロッジ関連の事業で成果のひとつとして今後、追尾されたい</li> </ul>		
	三次評価(外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>当事業は橋梁の完成により平成29年度で廃止となり、今後は地域団体に維持管理を委託し、散策路が良好な状態として機能できるよう努める。</p> <p>・二瀬川溪流の自然を満喫できる場所として、大江地域観光案内倶楽部、大江まちづくり住民協議会、海の京都DMO等々の各種団体と連携し、またマスメディア、SNS等のツールの活用により効果的な広報に取組み、利用促進を図る。</p> <p>・散策路付近の入り込み客数の把握については、屋外施設のため把握は困難であり現在のところ予定していない。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大呂自然休養村管理事業			220211	担当課	農政課	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成34(2022)	作成責任者	大西 誠樹		
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 農業総務費	決算附属資料	168	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。						
	対象者	上川口地域住民	対象者数	1,499	一人当たりコスト	20.28		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 公益社団法人 福知山市シルバー人材センター 他						
	事業概要	指定管理者による管理運営によって、民間のノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の運営を行う。平成28年度に指定管理者の業務不履行のため指定を取消したことから、指定管理者が不在となったため、平成29年度においては、指定管理者の募集を行うとともに、市直営にて部分的に施設の運営を行った。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容				H29経費	
		工事請負費	大呂キャンプ場進入路災害復旧工事				4,834	
賃金		臨時職員賃金				4,769		
委託料		大呂グラウンドゴルフ場芝等維持管理業務 他				3,807		
需用費		大呂自然休養村センター 宿泊管理棟電気料 他				2,191		
報酬、役務費、備品購入費	報酬53、役務費455、備品購入費8				516			
関連事業	大呂自然休養村整備事業							
予算と執行の 状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算…①	8,949	20,932	17,088	15,395		
		補正予算等…②	4,546	△ 1,412	0	0		
		繰越し等…③	0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源	13,370	9,128	16,968	15,252	
			国支出金	0	0	0	0	
			府支出金	0	0	0	0	
			地方債	0	4,000	0	0	
			その他特財	125	6,392	120	143	
	特定財源名称 (H29実績)	大呂自然休養村センター施設使用料		3,774	使用料	10 頁		
		大呂自然休養村進入路整備事業(辺地対策債)		4,800	市債	50 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	1.65/0.1	1.36/0	1.36/0	/		
概算人件費…④		13,450	10,880	10,880				
総事業費(①+②+③+④)…⑤		26,945	30,400	27,968				
執行状況	執行額…⑥		11,482	16,117				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		85.1%	82.6%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数(宿泊利用のみ)	人	0 / 1030	0/0	/1600	1840	
		上記以外の施設利用者数	人	/	/	/11400	15000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設開館日数	日	182 / 311	311/311	/ 311	311	
		単位あたりコスト		63.1	51.8			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図る施設であり民間の能力を活用しつつ、サービスの向上、経費の削減等を図るため、指定管理施設として市が取り組む必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・指定管理制度を取り入れ、民間ノウハウによる施設利用者の増進やコスト削減を行い、市の直営では非効率となる施設運営の合理化を図っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・老朽化のため建替えた宿泊棟及びグラウンドゴルフ場、キャンプ場等の施設と併せ施設利用者の増進を図り、農村と都市住民の交流による地域の活性化に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	効率性の面から、指定管理者による運営となるまでの限定した期間のみ、市直営によって運営を行うこととし、平成29年度は宿泊部門の運営を行っておらず、事業目的としては達成できていないが、指定管理者の募集を行い、新たな指定管理者として(株)丹波悠遊の森協会を指定するに至った。 (株)丹波悠遊の森協会は、丹波市の指定管理施設である「丹波悠遊の森」を運営している団体であり、指定管理者として十分な実績を備えた団体である。		
	今後の課題及び方向性	平成30年度から平成34年度までの5年間は、新たな指定管理者として(株)丹波悠遊の森協会を指定管理者に指定し、現在指定管理者による施設運営を行っている。市外の団体が指定管理者であることから、地域に根ざした施設運営が課題であるが、現在のところ地域との連携を図り円滑に運営されている。今後この5年間で安定した運営基盤を図ることとする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建てた市の責任が重い。指定管理者任せではなく、目的の変更や転換なども含めて市として活用方法を検討する必要がある。</li> <li>・根本的にどういう方向で運営するのか、いかに効率よく運営していくのか改善策を見つけること。</li> <li>・指定管理期間は収益性を追及し、改善が出来なければ止めることを考える。 (判定人意見)</li> <li>・指定管理者任せになっている。責任ある運営姿勢が見えない。</li> <li>・目的の「農村と都市住民の交流促進」を進めていくべきでは。明確な使用方法(計画)が見えない。</li> </ul>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>本施設は収益型施設であり、今後の方向性としては多額の指定管理料を市が負担することなく、運営される施設となることである。 施設の設置目的は、豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図ることであり、現在の指定管理者である(株)丹波悠遊の森協会は、丹波市の指定管理施設である丹波悠遊の森で、京阪神地域を中心とした誘客を実績として得られている。 この運営ノウハウが活かされるよう、指定管理者とのコミュニケーションを図り、可能な限りバックアップを行う。また地域においても大呂自然休養村センターを地域の中核施設として、利活用し支援されている。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	こぶし荘管理事業			220212	担当課	農政課	
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	大西 誠樹		
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 農業総務費	決算附属資料	168・170	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	福知山市こぶし荘条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流促進及び地域振興を図る。						
	対象者	雲原・金山地域住民	対象者数	634	一人当たりコスト	12.89		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山市北陵総合センター運営理事会						
	事業概要	こぶし荘及び関連施設等において指定管理者を選定し、民間のノウハウを活用し効率的かつ効果的に施設の管理運営を行う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		福知山市こぶし荘指定管理料			2,227	
需用費		北陵総合センター雨樋ほか修繕 他			1,208			
工事請負費		北陵総合センター非常用放送設備更新工事			647			
役務費		建物総合共済基金分担金			13			
関連事業	農村研修集会施設等管理事業(山村基幹集落センター)							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,241	2,619	3,033	2,836	
		補正予算等・・・②		942	2,114	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		3,183	4,733	3,033	2,831	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	5	
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.32/0	0.43/0	0.43/0	/	
		概算人件費・・・④		2,560	3,440	3,440		
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,743	8,173	6,473		
執行状況	執行額・・・⑥			3,183	4,095			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	86.5%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数	人	8337/8800	8103/9000	/9200	9400	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設開館日数	日	359 / 359	359 / 359	/ 359	359	
		単位あたりコスト		8.9	11.4			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・地域公民館活動の拠点施設である「山村基幹集落センター」に隣接しており、他の集客施設と併せてコミュニティセンターを構成していることから市が取り組む必要性は高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・本施設に併設する施設や地域公民館の一体的な運営に向けて、一層のコスト削減を図る必要がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・本地域が積極的に取り組んでいる様々な地域再生、活性化事業の拠点施設としての役割を果たしている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成29年度の利用者数については目標を下回る結果となったが、北陵地域の再生・活性化のための拠点施設として役割を果たしている。		
	今後の課題及び方向性	施設の修繕・改修を適宜実施し、利用者の利便性向上を図ることにより集客増加を見込む。特にスポーツ施設を保有している優位性をPRし、スポーツ振興、社会体育活動の充実を図っていく。 建設後37年を経過し施設の老朽化が進んでおり、社会ニーズに適した施設改修の検討が必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標をより根拠のある数値に修正していただきたく思います。</li> <li>・近隣の施設と所管課の統一を検討していただきたく思います。</li> <li>・使用頻度や売り上げなど目に見える明確な指標では表せないニーズがあるようで、単純に廃止を検討するのは得策ではない。従って、近隣住民の思いを常日頃から抽出していただき、近隣住民の思いの変化のタイミングにあわせて、改修計画など今後の方針を検討いただくのがよいかもしれない。</li> <li>・今後、利用者の増が見込まれるよう、市と地域と連携して改修・修繕の計画を検討いただき、その財源も明確にしてもらいたい。</li> <li>・今後は、施設の老朽化や耐震の課題に対してはその改修計画や財源確保をしっかりと考えた上で、施設の利用者の確保に対しては利便性向上のための創意工夫を行った上で、本施設が地域振興に寄与できるよう有効な施設の管理を行っていただきたい。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>平成30年7月の豪雨災害により被災し使用を中止したことにより、平成30年12月末をもって指定管理者の指定を取消し、平成31年1月以降については、農政課の直営施設として施設及び敷地の維持管理を行う。</p> <p>平成30年度に設計業務を実施し、平成31年度中に災害復旧工事に着手する予定としている。</p> <p>当該施設を含む「福知山市北陵総合センター」は地域で唯一の公共施設であり、地域コミュニティを形成していく上で重要なものである。今後の北陵地域の将来像や持続可能な地域運営にどのような効果や影響をもたらすのか考察が必要であると考えており、施設全体のあり方や運営について総合的に検討していく。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大呂自然休養村整備事業 (220248)			担当課	農政課	
	開始年度	平成24(2012)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	大西 誠樹	
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 農業総務費	決算附属資料	170	頁
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-	
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	福知山市大呂自然休養村センター条例	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	豊かな自然環境の中で、農村と都市住民との交流を促進するとともに、地域の活性化を図る。					
	対象者	上川口地域住民	対象者数	1,499	一人当たりコスト	11.35	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	丹後、但馬地域および京阪神への日帰り圏域にある本市の地理的特性を活かし、長期滞在型観光の拠点化とするため、滞在型施設である大呂自然休養村センターの充実を図る。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		工事請負費		大呂自然休養村テニスコート跡地駐車場整備工事 他			15,576
関連事業	大呂自然休養村管理事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	80,000	0	0	29,370	
		補正予算等・・・②	△ 33,061	0	0	0	
		繰越し等・・・③	1,020	15,900	0	0	
		財源内訳	一般財源	△ 541	0	0	0
			国支出金	0	0	0	0
			府支出金	0	0	0	0
			地方債	48,500	15,900	0	29,370
			その他特財	0	0	0	0
	特定財源名称 (H29実績)	大呂自然休養村整備事業(辺地対策)(繰越)		15,300	市債	50 頁	
						頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.33/0	0.14/0	0/0	/	
		概算人件費・・・④	2,640	1,120	0		
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		50,599	17,020	0		
執行状況	執行額・・・⑥		35,866	15,576			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		74.8%	98.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		事業実施件数	件	1/6	5/6	/6	6
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		施設開館日数	日	182 /311	311/311	/311	311
		単位あたりコスト		197.1	50.1		
			/	/	/		
	単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・農村地域へ都市住民を誘客し地域の活性化を図ることを目的とした施設であり、滞在型施設としての充実性を図り、利用者の便益を向上させるため、市が取り組む必要性が高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・条例等に従い、工事発注を行うことで適切な事務執行に務めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・必要最小限の事業投資で最大限の効果を発揮させることを念頭に事業実施に努めている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	テニスコート跡地をグラウンドゴルフ場の駐車場として整備し、駐車台数28台から49台、21台分の増設を行うことで、休日の混雑時等の駐車場不足の解消が図れた。また、グラウンドゴルフ場進入路の視距を改善し、利用者の安全性を図った。 センター進入路は、経年劣化により舗装の損傷が著しく陥没箇所や亀裂が生じていたものを改善し、センター駐車場に照明灯を設置することで、利用者の安全性が図れた。		
今後の課題及び方向性	平成30年度から平成34年度までの5年間は、新たな指定管理者として(株)丹波悠遊の森協会を指定管理者に指定し、現在指定管理者による施設運営を行っているが、センター駐車場が旧館を解体したまま、未整備な状態となっている。平成29年度に照明灯を2基設置し、安全性の確保は図れたが、滞在型施設として駐車場の整備や空きスペースの有効活用を図る必要がある。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成28年度に事業実施としていたが、指定管理者の指定の取り消しに伴い、事業実施を見送っていた。平成30年度から新たな指定管理者が運営を行うこととなったことから、事業実施計画を復旧し、旧宿泊棟の解体跡地を駐車場として整備することで、施設利用者の増進を促す。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	玄武岩公園管理事業 (230206)			担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	88	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	京都府指定文化財(天然記念物)に指定され、京都府景観資産にも登録されており、やくの玄武岩公園を夜久野地域における観光施設のひとつとして、適正に維持管理することにより夜久野地域への観光客及び交流人口の増加を図る。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	不明	一人当たりコスト	-		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 小倉幸福会						
	事業概要	やくの玄武岩公園の清掃業務、人工滝の運転や夜間ライトアップ、設備の維持運営等にかかる経費となっている。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		電気・水道代、施設修繕等(3件)			565	
委託料		公園清掃1回/月、トイレ清掃1回/3日			354			
役務費		建物総合損害共済分担金、案内看板撤去			50			
使用料及び賃借料		案内看板用賃借料			30			
関連事業	玄武岩公園用地整理事業							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,046	1,045	993	908	
		補正予算等・・・②		166	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		1,212	1,045	993	908	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.22/0	0.31/0	0.31/0	/	
概算人件費・・・④		1,760	2,480	2,480				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,972	3,525	3,473			
執行状況	執行額・・・⑥		1,212	999				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	95.6%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		農匠の郷施設年間来客数	千人	141/159	142/159	/159	159	
		苦情・クレーム件数	件	2/0	0/0	/0	0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公園内清掃	事業	12/12	12/12	/12	12	
		単位あたりコスト		101.0	83.3			
			/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・やくの玄武岩公園は旧夜久野町が観光施設のひとつとして民間の土地を無償で借り上げて整備した公園であり、将来にわたって適正に管理する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・公園清掃の委託については入札で地元の団体が受託している。その他にも公民館活動や夜久野学園のボランティアにて清掃活動が行われている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・やくの玄武岩公園への来客数をカウント出来ていないため有効性の分析が困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	維持管理に関する苦情クレームは少なく適正に管理できている。観光におけるやくの玄武岩公園は立ち寄りポイントのひとつであり、道の駅農匠の郷やくの、宝山、夜久野八十八か所石仏めぐり等の夜久野高原を周遊してもらうことが必要であるが、道の駅への集客は減少傾向にある。平成28年には、玄武岩の柱状節理、板状節理に加え滝があることにより、映画のロケ地とになった。平成29年には、「出発ローカル線聞きこみ発見の旅」でやくの玄武岩公園が紹介された。		
今後の課題及び方向性	やくの玄武岩公園用地は地元から無償で借り受けている。玄武岩公園用地整理事業において土地の境界確定を進めており、確定後福知山市の土地として無償譲渡を受け、条例に位置付け将来に向けて適正管理を続ける。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○玄武岩公園は、用地を地元から無償で借り受け、市が管理している。この用地を市の所有とするため、現在「玄武岩公園用地整理事業」により境界確定を進めており、平成31年度に完了する計画としている。ハード面の施設整備については平成32年度以降に検討する。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大雲記念館等管理事業			230207	担当課	大江支所		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	88・90	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用する中で施設の有効活用を図る。 鬼力亭は、地域食材を活用し産業振興に寄与するとともに、大雲塾舎は人材交流を目的とした宿泊施設を有する研修施設として地域の活性化に寄与する。また、京都府有形文化財に指定されている大雲記念館は歴史の継承と鬼力亭の別館として活用する。							
	対象者	市民・来館者	対象者数	18,840	一人当たりコスト	0.70			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 大江観光株式会社							
	事業概要	大雲塾舎、鬼力亭及び大雲記念館を適正かつ円滑に管理するため指定管理者制度を導入する。 施設管理運営にかかる経費である。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		施設の管理		指定管理業務委託料			11,578		
保険料		施設の火災保険料			51				
土地借地料		大雲記念館借地料			50				
需用費		消耗品			10				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		11,680	11,690	11,679	11,250		
		補正予算・・・②		32	0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		11,677	11,655	11,644	11,215		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		35	35	35	35		
		特定財源名称 (H29実績)	大雲記念館使用料			35	総務使用料	8	頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.12/0	0.18/0	0.18/0	/		
		概算人件費・・・④		960	1,440	1,440			
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			12,672	13,130	13,119			
執行状況	執行額・・・⑥			11,710	11,689				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		施設利用者数	人	23,876/24,700	18,840/24,700	/24,700	24,700		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		企画経営会議	回	12 / 12	12 / 12	/ 12	12		
		単位あたりコスト		975.8	974.1				
		単位あたりコスト		/	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大雲の里は地域の特産物を利用した料理の提供など地域振興に欠かせず、また、雇用の創出につながっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	民間のノウハウを活用することで、利用者の目線に立ち費用を抑えながら、サービスの向上につながっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間経営により迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出を図るため有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市はモニタリングによる適切かつ確実なサービスの提供確保の確認、及び改善に向けた指導・助言を行い適正な管理を図る。 民間のノウハウを活用することで、利用者の目線に立ち費用を抑えながら、サービスの向上につながっている。	
	今後の課題及び方向性	大雲記念館を鬼力亭の別館として活用するなど、施設の一体的な利用が求められている。 また、記念館の入館を予約制にするなど、人件費の削減を行っている。 指定管理者の経営努力により指定管理料を減額できるようサポートが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		・施設を十分に活用して収益を確保できているか、本来のポテンシャルを生かしているのか、という観点で、管理者の日常業務から点検し、さらなる経営力の向上につなげていくべき → 単に、指定管理料の減を図ることではなく、拠点としての価値を最大化させるという視点が不可欠		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・指定管理者と施設の特性を活かした活用方策、また管理運営について協議を行い、効果ある管理運営を図る。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大江山鬼瓦工房等管理事業 (230210)			担当課	大江支所		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	90	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	指定管理者制度を導入し、民間の経営ノウハウを活用する中で施設の有効活用を図る。 大江山地域の歴史的及び自然的資源を活用した農林業体験施設、観光関連施設として、都市住民に豊かな自然に親しむ機会を提供するとともに地域の活性化を図る。						
	対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	9,267	一人当たりコスト	1.09		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 大江観光株式会社						
	事業概要	大江山鬼瓦工房、童子荘、バンガロー及び管理棟、自然環境活用センター、パーペキュアハウス、大江山グリーンロッジ周辺施設、野鳥の森管理棟、多目的グラウンド、テニスコート、キャンプ場、水車小屋、遊You広場を適正かつ円滑に管理するため指定管理者制度を導入し、利用料金制による効率的な利活用を図る。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		施設の管理		指定管理業務委託料			7,776	
土地賃借料		酒呑童子の里施設等の土地賃借料			855			
保険料		建物損害共済保険料等			36			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		8,668	8,668	8,668	8,379	
		補正予算・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		8,668	8,668	8,668	8,379	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)					頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.12/0	0.18/0	0.18/0	/	
概算人件費・・・④		960	1,440	1,440				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			9,628	10,108	10,108			
執行状況	執行額・・・⑥			8,667	8,667			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数	人	9,227/10,000	9,749/10,000	/ 10,000	10,000	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		企画経営会議	回	12/ 12	12/ 12	/ 12	12	
		単位あたりコスト		722.3	722.3			
		単位あたりコスト		/	/	/		

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	夏季は学生等のスポーツ合宿を中心に活用され提供など地域振興に欠かせず、また、雇用の創出につながっている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	民間のノウハウを活用することで、利用者の目線に立ち費用を抑えながら、サービスの向上につながっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	民間経営により迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出を図るため有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	市はモニタリングによる適切かつ確実なサービスの提供確保の確認、及び改善に向けた指導・助言を行っている。民間の経営ノウハウを活用し、迅速かつ柔軟な対応、住民サービスの向上、雇用の創出等を図るのに有効である。夏季は学生等をはじめ利用者が多いが、冬季の誘客が課題である。民間の経営ノウハウを活用し、施設の効果的利活用、省力化等による経費節減を図っている。	
	今後の課題及び方向性	夏季は学生の合宿をはじめ多くの来客があるが、冬季は利用者が大きく落ち込んでいるため、冬季に誘客できる仕組みづくりが必要である。また、地域皆様にも活用していただけるようPRが必要である。指定管理者の経営努力により指定管理料を減額できるようサポートが必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・指定管理者と施設の特性を活かした活用方策、また管理運営について協議を行い、効果ある管理運営を図る。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	和紙伝承館管理事業 (230211)			担当課	大江支所		
	開始年度	平成17(2005)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	90	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	和紙伝承館は、かつての地場産業であった「丹後和紙」を後世へ伝承することを目的に設置された。本館では和紙の手漉き体験もでき丹後和紙について学習できる施設として観光・産業振興をテーマに地域活性化に寄与する						
	対象者	市民・来館者	対象者数	644	一人当たりコスト	4.48		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 丹後二俣紙保存会、田中製紙工業所 アムス・セキュリティサービス株式会社						
	事業概要	和紙伝承館の管理運営を行う。和紙伝承館の開館は、土日祝日の午前10時から午後4時。但し、12月28日～1月3日は休館。 和紙伝承館での企画展を丹後二俣紙保存会に委託する。年4回開催する。 和紙手漉き体験を田中製紙工業所に委託する。10名以上の団体において予約にて対応。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		企画展、手漉き体験の委託料、警備委託等			941	
臨時職員の賃金		臨時職員による施設運営			657			
施設管理の経費		電気代、上下水道料、電話料等			258			
役務費					43			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,063	2,063	2,037	1,955	
		補正予算・・・②		214	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		1,898	1,679	1,659	1,655	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		379	384	378	30	
		特定財源名称 (H29実績)	和紙伝承館使用料		100	総務使用料	8	頁
		和紙伝承館体験料		229	雑入	44	頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.12/0	0.04/0.2	0.04/0.2	/	
概算人件費・・・④		960	820	820				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,237	2,883	2,857			
執行状況	執行額・・・⑥		2,275	1,899				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.9%	92.1%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数	人	846 /1,200	644/1,200	/ 1,200	1200	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開館日数	日	133 /133	120 /120	/ 132	132	
		単位あたりコスト		17.1	15.8			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	手漉き和紙という貴重な文化を継承させるために必要な経費である。伝統文化の継承を主体とするため利益を上げる施設運営は厳しく、民間が行うことは難しい。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	開館日を土日祝と定め、効率的な運営により、コスト削減を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	手漉き和紙という貴重な文化を継承させるために、情報発信に必要な施設である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	和紙伝承館は、地域の伝統産業であり貴重な文化である手漉き和紙の継承と観光の活性化を図るため歴史と技の展示、製作体験、和紙を活用した作品の展示を行い、広く発信する施設として活用し、年間644名の利用があったが、利用者の向上が課題である。	
	今後の課題及び方向性	和紙伝承館の利用者が少ない状況において施設の有効活用が課題である。和紙関係者への民間譲渡による施設有効活用が求められるが、譲渡困難な状況において、施設の一部貸し出しを含めた施設運営の検討が必要である。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ・利活用促進のため、和紙とのコラボ作品の体験等(和紙のランプ作り等)の企画を検討する。 ・他観光施設との連携による利用促進を図る。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	やくの木と漆の館事業 (230215)			担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成12(2000)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	90	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	夜久野は古来日本でも有数の漆の産地であり、人々の暮らしをささえてきた生業は漆掻きであった。そんな夜久野の歴史を残し、伝えていくことを目的に「やくの木と漆の館」は設置された。丹波漆の伝統継承と漆産業の振興を目的に設立された「NPO法人丹波漆」の活動と連携をとりながら、地元の漆を使った夜久野ならではの製品を作り、丹波漆の良さを伝えていくことを目標としている。						
	対象者	市民、利用者	対象者数	1,500	一人当たりコスト	9.87		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	やくの木と漆の館の施設管理及び事業運営 ・建物、物品管理、修繕 ・漆器の制作、販売 ・漆に関する資料展示と広報宣伝活動、漆塗り体験教室の運営、ギャラリー展示						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		漆器(商品)材料費		漆等商品制作消耗品、木地等加工材料、光熱水費			2,887	
備品購入費及び負交補		カラープリンター等53・年会費等470			523			
役務費		通信運搬費、広告料、手数料、保険料			245			
体験教室講師謝礼及び旅費		蒔絵教室(2日/月)金継ぎ・漆教室(2日/月)			184			
関連事業	丹波漆伝承サポート事業(夜久野支所)							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		4,402	4,026	3,945	3,609	
		補正予算等・・・②		△ 11	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		0	0	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		4,391	4,026	3,945	3,609
	特定財源名称(H29実績)	やくの木と漆の館物品			1,950	物品売払収入	32 頁	
		やくの木と漆の館体験料			1,970	その他の雑入	44 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.39/03.17	0.20/3.67	0.20/3.67	/	
概算人件費・・・④		11,045	10,775	10,775				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			15,436	14,801	14,720			
執行状況	執行額・・・⑥			4,210	3,920			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			95.9%	97.4%			
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		入館者数	人	1120/1500	1289 /1500	/1500	1500	
		蒔絵・金継ぎ教室参加者	人	226/220	234/220	/250	300	
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		蒔絵・金継ぎ教室開催	日	33/33	31/33	/33	33	
		企画展等開催	回	11/12	8/12	/12	12	
		単位あたりコスト	127.6	126.5				
		単位あたりコスト	382.7	490.0				

項目		評価	評価に対する説明
必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	丹波漆を福知山市のブランド品にしていくためにNPO法人丹波漆と連携し、この事業を推進していく必要がある。
	民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
	目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	NPO法人丹波漆が漆を植栽し育てる、やくの木と漆の館において漆器の展示・制作・販売・体験等を行い、漆の魅力を発信するという役割分担により官民が連携している。
	他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
	コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	「農匠の郷やくの」の拠点施設の運営事業として、観光振興分野で本市の総合計画の実現に欠かせない事業である。
	活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
	先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	丹波漆の伝統として、また、漆塗りや絵付けなど様々な漆芸が行える体験型施設として運営するとともに、漆器の制作販売や、漆芸作家作品等の展示、各種資料展示、体験教室などを通じて地域文化の活性化を図った。また、文化庁が国宝や重要文化財の修復にかかる漆を外国産漆から国産漆に切り替える方針を示すなか、京都府も夜久野地域の漆の再生にむけて支援を強化しており、府・市・NPO法人丹波漆の連携が強化された。		
今後の課題及び方向性	平成28年4月1日より、地域おこし協力隊員が加わり、丹波漆の伝承館として、新たな商品開発や夜久野で採れた漆を使用した漆器等により丹波漆の情報を発信し、入館者数、売り上げの増加を目指す。また、「道の駅農匠の郷やくの」の特徴ある施設として他の施設と協働して、全体の集客増を図るとともに、「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド対策、PR戦略等を検討して行く。文化庁の京都府移転も決まるなか国との連携も視野に入れた漆振興策を検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見	
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見	
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ○文化・スポーツ振興課所管の「丹波漆活用事業」や「福知山観光地域づくりセンター」・「海の京都、森の京都DMO」等と連携し、インバウンド対策、PR戦略等を検討して行く。また、文化庁の京都府移転も決まる中、国との連携も視野に入れた漆振興策を検討する。  【H29棚卸しに係る見直し状況】 ○体験プログラム等の代理販売に係わる覚書を一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社と締結した。 ○新たな体験教室を1月に実施し、PR戦略を図る。
	予算への反映 【財政担当課記入】	<b>予算額の反映状況(対H30)</b>  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	農匠の郷やくの施設管理運営事業 (230219)			担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	90	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	福知山市ファームガーデンやくの条例		
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	民間事業者のノウハウを活かした指定管理方式により、「農匠の郷やくの」の施設である「夜久野荘、ほっこり館、やくの一道庵、やくの本陣、やくの花あずき館、やくのペゴニア園、その他附属施設」を適正且つ円滑に管理運営していくとともに、指定管理者自らの創意工夫により魅力ある事業を企画・実施し利用者増に向けて利用促進を図る。※他の施設としては、市直営のやくの木と漆の館、夜久野町化石・郷土資料館、民営の夜久野マルシェ、やくの高原市がある。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	79,044	一人当たりコスト	1.17		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (株)夜久野ガーデン、伊勢源六たちばなや、(株)西日本エスエスシー共同企業体 他						
	事業概要	「農匠の郷やくの」の施設である夜久野荘、ほっこり館、やくの一道庵、やくの本陣、やくの花あずき館、やくのペゴニア園、その他附属施設の管理運営に係る指定管理料及び指定管理者との協定等に基づき市が行うべき整備・修繕・管理運営にかかる経費。 (追記)【特定財源名称(H29実績)】農匠の郷やくの施設管理運営事業負担金 13,677千円						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費		
	委託料	維持管理業務(指定管理料、機械設備等保守ほか)			48,946			
	需用費	光熱水費(電気料、水道料)、修繕料(施設修繕料)			23,493			
	工事請負費	改修工事(ペゴニア園消防設備工事)			2,376			
	役務費	手数料(法定点検手数料)、保険料(損害保険料)			407			
	使用料及び賃借料他	土地賃借料(農匠の郷やくの案内看板用)他			285			
関連事業								
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	0	79,730	68,782	66,614		
		補正予算等・・・②	0	0	0	0		
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源	0	49,446	52,288	51,903		
		国支出金	0	0	0	0		
		府支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	3,700	0	0		
		その他特財	0	26,584	16,494	14,711		
		特定財源名称(H29実績)	農匠の郷やくの施設管理運営事業	2,300	過疎対策債	48 頁		
		地域振興施設維持補修基金	6,180	電源立地交付金	38 頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	/	1.59/0.05	1.59/0.05	/		
概算人件費・・・④		0	12,845	12,845				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		0	92,575	81,627				
執行状況	執行額・・・⑥		0	75,507				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		0.0%	94.7%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		指定管理施設利用者数	人	/	68,349/79,044	/80,625	82,295	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		維持管理経費	千円	/	75,507/79,730	/	-	
		単位あたりコスト		0.0	-			
指定管理料	千円	/	44,862/44,862	/43,788	42,918			
単位あたりコスト		0.0	-					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・道の駅農匠の郷やくのは夜久野地域おける農村都市交流の拠点施設として必要な施設である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	・平成28年度から効率性や施設間の連携強化を目的に利用者数の少なく非効率な施設を休園し、3者の指定管理者で運営管理を行っている。設置後20年を迎えようとする老朽化した施設の更新費用が必要である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・指定管理者募集にあたり、利用者数増加や収支改善等の数値目標を設定し、指定管理者との協定を締結しているが目標達成が困難な状況にある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	指定管理者の一本化により各施設間の連携が芽生え、集客への取り組みも始まっている。施設によりその成果は異なるが、企業努力で収益性は改善されている。		
	今後の課題及び方向性	設備の老朽化により維持経費は毎年増加するなか、施設の利用者数は減少傾向にある。平成28年度から平成31年度までの指定管理期間においては、指定管理者との協定のなかに、利用者数や収支改善の目標値を定めている。平成30年度から指定管理制度第3者評価委員会の中に「あり方検討部会」を設置し今後のあり方を検討して行く。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容  ○指定管理施設については、指定管理制度第三者評価委員会の報告、指導を受け2月～3月中旬、市としての方針を決定し、承認を受ける。  【H29棚卸しに係る見直し状況】 ○現在、指定管理制度第三者評価委員会の調査中である。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大江地域施設改修事業(あしぎぬ大雲の里改修事業) (230256)			担当課	大江支所		
	開始年度	平成5(1993)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	90	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	大雲記念館等からなる「あしぎぬ大雲の里」や大江山グリーンロッジ等からなる「酒呑童子の里」の各施設の老朽箇所、損傷箇所の適切な修繕を行うことにより、施設機能の維持・建物の長寿命化及び利用者の安全性・利便性を確保する。						
	対象者	市民、観光客	対象者数	24,625	一人当たりコスト	0.08		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	「あしぎぬ大雲の里」、「酒呑童子の里」の施設の老朽箇所等の改修(修繕)を行う。						
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		施設修繕等			305	
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,429	800	1,300	1,137	
		補正予算・・・②		526	△ 495	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		1,264	1	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		691	304	1,300	1,137
	特定財源名称(H29実績)		地域振興施設維持補修基金繰入金		304	基金繰入金	頁	
							頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.16/0	0.20 /0	0.0	/	
概算人件費・・・④		1,280	1,600	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,235	1,905	1,300			
執行状況	執行額・・・⑥		1,906	305				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		97.5%	100.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数	人	23,876 /24,700	24,625/24,700	/24,700	24,700	
				/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		修繕及び改修等件数	件	4/ 2	1/ 2	/4		
		単位あたりコスト		476.5	305.0			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	施設の適正な維持管理を行うことにより利用者の利便性の確保ができ、必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	入札や見積書を徴収するなど、コスト削減を行うとともに、修繕の優先順位を考慮し必要な修繕を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	観光客の満足度を向上させるため、計画的な改修が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	施設利用者の安全性・利便性を確保するため、施設の老朽箇所等の改修が必要である。観光客の満足度を上げるため計画的な改修が有効である。施設機能の維持・建物の長寿命化のため計画的な改修を行うことが効率性につながる。	
	今後の課題及び方向性	老朽化する施設の計画的な修繕及び財源確保が課題であり、公共施設マネジメントにより施設の集約化を進める必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・H30年度に「酒呑童子の里改修事業」を統合し、事業名を「大江地域施設改修事業」とする。 ・施設利用者の安全性・利便性を確保するため施設修繕を行う。 ・緊急性等を精査し、修繕箇所を選定する。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	酒呑童子の里改修事業 (230257)			担当課	大江支所		
	開始年度	平成5(1993)	終了予定年度	平成29(2020)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	90	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大江山グリーンロッジ、バンガロー、テニスコート等からなる「酒呑童子の里」の観光施設の老朽箇所、損傷箇所の適切な修繕を行うことにより、施設機能の維持・建物の長寿命化及び利用者の安全性・利便性を確保する。						
	対象者	市民、観光客	対象者数	24,260	一人当たりコスト	0.11		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	「酒呑童子の里」の施設の老朽箇所等の改修(修繕)を行う。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		施設修繕等			1,168	
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	400	0	0	
		補正予算・・・②		1,227	768	0	0	
		繰越し等・・・③		2,700	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		3	768	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		2,700	0	0	0
			その他特財		1,224	400	0	0
	特定財源名称 (H29実績)	地域振興施設維持補修基金繰入金			758	基金繰入金	38 頁	
							頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.16/0	0.20 /0	0.0	/		
	概算人件費・・・④		1,280	1,600	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			5,207	2,768	0			
執行状況	執行額・・・⑥		3,630	1,168				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		92.4%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数	人	24,579/20,000	24,260/20,000	/20,000	20,000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		修繕及び改修等件数	件	7/ 0	6/1	/		
		単位あたりコスト		518.6	194.7			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	施設の適正な維持管理を行うことにより利用者の利便性の確保ができ、必要な事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	入札や見積書を徴収するなど、コスト削減を行うとともに、修繕の優先順位を考慮し必要な修繕を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	観光客の満足度を向上させるため、計画的な改修が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	施設利用者の安全性・利便性を確保するため、施設の老朽箇所等の改修が必要である。観光客の満足度を上げるため計画的な改修が有効である。施設機能の維持・建物の長寿命化のため計画的な改修を行うことが効率性につながる。	
	今後の課題及び方向性	老朽化する施設の計画的な修繕及び財源確保が課題であり、公共施設マネジメントにより施設の集約化を進める必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ・H30年度より「あしぎぬ大雲の里改修事業」に統合し、事業名を「大江地域施設改修事業」とする。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	元伊勢観光センター管理事業 (230259)			担当課	大江支所		
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2030)	作成責任者	山中 忠雄		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	90・92	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	丹後天橋立大江山国定公園の大江山や元伊勢三社の観光案内機能を持たせるとともに、施設の有効利用を図るため当施設一部について使用者を公募し、どぶろくづくりや食堂運営を行っている。 大江山、元伊勢等多くの観光資源を有する国定公園の玄関口・誘客拠点として維持運営を目指し、観光客の入込みを図る。						
	対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	1,662	一人当たりコスト	1.32		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 大江地域観光案内倶楽部 どぶろく研究会 内宮自治会						
	事業概要	元伊勢観光センターの施設維持(建物損害共済保険料、借地料、光熱水費、老朽箇所・損傷箇所修繕)のための経費。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託業務		大江ふるさと観光ガイド、トイレ等施設清掃、駐車場除雪			886	
光熱水費		施設維持のための電気代、上水道使用料等			351			
役務費		建物損害共済保険料、電話代等			108			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		838	1,591	1,384	1,158	
		補正予算・・・②		△ 125	△ 220	0	0	
	繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		445	722	901	897	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		268	649	483	261	
		特定財源名称 (H29実績)	元伊勢観光センター貸付収入			115	財産貸付収入	30 頁
		自動販売機設置貸付収入 他			375	財産貸付収入	30・42・46 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.17/0	0.04/0.20	0.04/0.20	/	
		概算人件費・・・④		1,360	820	820		
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,073	2,191	2,204			
執行状況	執行額・・・⑥		617	1,345				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		86.5%	98.1%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		施設利用者数	人	2,094/2,000	1,662/2,000	/2,000	2,000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		開設日	日	143/143	141/141	/141	141	
		単位あたりコスト		4.3	9.5			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	観光客に対して迅速で細やかなサービスを提供するうえで、重要な拠点として位置付ける元伊勢観光センター維持管理に必要な経費である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	一部施設の貸付を行い、効率的な維持管理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	観光案内所として有効な施設であり、設置目的に合致している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	元伊勢観光センターは、丹後天橋立大江山国定公園や元伊勢三社など多くの観光資源を有する地域の拠点施設として運営しており、必要最小限の経費により施設管理を行っている。 また、京都丹後鉄道大江山口内宮駅に隣接した施設であり、駅舎としての位置づけもある。 丹後天橋立大江山国定公園や元伊勢三社の観光客に対する情報提供の場として有効な施設であり、当施設の活用として他事業「大江ふるさと観光ガイド事業」により土日祝、夏休みに案内所を開設し、観光客の受入を行い、きめ細かい対応により観光福知山をPRしている。	
	今後の課題及び方向性	観光案内所として必要最小限の維持管理経費で施設を運営する。観光客のニーズに応えつつ、コストを最小限に納めるため、土日祝日及び夏休みシーズンに開設している。事業継続により多くの観光客を誘客を図る。 市内で行われている観光案内や他市観光との広域連携を図り、誘客の増員を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・H30年度で施設貸借の契約が終了するため、公募を行い施設の有効活用を図る。 ・大江地域の主たる観光資源である大江山、元伊勢三社に特化した観光案内を引き続き実施するが、案内拠点として他施設の活用もふまえ、また、元伊勢観光センターの有効活用も併せ検討を行う。 ・「海の京都DMO」等の観光案内施設との連携により、利用者増となる効果的な施設運営を図る。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	宝山公園等管理事業			230260	担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	92	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	夜久野地域における観光拠点である宝山公園と夜久野高原さわやかトイレを適正に維持管理する。							
	対象者	観光客及び市民	対象者数	不明		一人当たりコスト			
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> あしだ土木							
	事業概要	宝山公園維持管理業務及び夜久野高原さわやかトイレ維持管理経費を計上している。 ・委託業務として、公園内の剪定や除草、公園内のトイレの清掃を行っている。 ・夜久野町平野に設置している「さわやかトイレ」を管理する朝来市へ光熱水費等に係る経費1/2を負担金として支出している。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		委託料		宝山公園清掃等業務(公園内トイレの清掃や剪定・除草)			918		
負担金		さわやかトイレ維持管理経費負担金			460				
土地賃借料		宝山公園用地の賃借料			42				
光熱水費		トイレ電気代・水道代			33				
役務費		し尿汲み取り手数料、建物総合損害共済保険料			5				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		1,580	1,580	1,580	1,445		
		補正予算等・・・②		0	0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		1,580	1,580	1,580	1,445	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		0	0	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
	その他特財		0	0	0	0			
	特定財源名称(H29実績)					頁			
						頁			
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.14/0	0.27/0	0.27/0	/			
	概算人件費・・・④		1,120	2,160	2,160				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			2,700	3,740	3,740				
執行状況	執行額・・・⑥			1,030	1,458				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			65.2%	92.3%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		苦情件数	件	0 / 0	0 / 0	/ 0	0		
				/	/	/			
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		清掃回数	回	310/310	310/310	/310	310		
		単位あたりコスト		3.3	4.7				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	観光拠点の維持管理であり必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	現場管理に必要な最小限の経費である。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	成果実績の積極的な情報収集ができていない。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	夜久野高原の施設を適正に維持管理することにより、観光地としてのイメージアップにつなげている。なお、対象者数の把握については、観光客数の測定が困難であるため未知数となっている。	
	今後の課題及び方向性	市の施設の適正管理を行うため、事業を継続する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園清掃の頻度や面積及び内容は？100万円程度の委託料が必要となると、その便益がどの程度あるのかと言わざるを得ない ⇒入場者・利用者の特定が難しい中、どのような捉え方があるかは引き続き要検討</li> <li>・維持管理なので統合が可能なら、31年度予算から統合を</li> <li>・他の管理事業との統合も検討しては。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	<p style="text-align: center;">所 見</p>		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</li> <li><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</li> <li><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし</li> </ul>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>○公園清掃等にかかる現場管理に必要な最小限の経費であり、適正管理を行うため、事業を継続する。 ○他に統合する事業が無い。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</li> <li><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</li> <li><input type="checkbox"/> 拡充</li> </ul>	<p>担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	観光関連施設管理事業			230261	担当課	大江支所		
	開始年度	平成24(2012)	終了予定年度	平成32(2030)	作成責任者	山中 忠雄			
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	92	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	観光施設のトイレやハイキング道等の維持管理及び保全管理補助により、観光振興の推進を図る。							
	対象者	来訪者(観光客等)	対象者数	31,690	一人当たりコスト	0.12			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 大江観光(株) (株)クリア 佛性寺老人会							
	事業概要	観光地の公衆トイレの適切な維持管理をおこなう。また、ハイキング道やオノ神の藤公園など観光施設等の適切な管理のため、業務委託や補助を行っている。							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		委託業務		トイレ維持管理業務、ハイキング道維持管理業務			2,210		
光熱水費		施設維持のための電気代、上水道使用料等			504				
保険料		建物損害共済保険料等			144				
補助		オノ神の藤の維持のため地元にて経費を補助する。			81				
土地賃借料		鍋塚バイオトイレ用電線架線のための土地賃借料			15				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		2,544	2,749	2,668	2,754		
		補正予算・・・②		△ 38	215	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		2,506	2,964	2,388	2,333		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		0	0	280	421		
		特定財源名称(H29実績)					頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.22/0	0.05/0.20	0.05/0.20	/		
概算人件費・・・④		1,760	900	900					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,266	3,864	3,568				
執行状況	執行額・・・⑥			2,502	2,954				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			99.8%	99.7%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		大江山入込客数		人	36,490/30,000	36,340/30,000	/30,000	30,000	
					/	/	/		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		管理施設数		件	7/ 7	7/ 7	/ 7	7	
		単位あたりコスト			357.4	422.0			
			/	/	/				
単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	大江山や周辺を観光される方に安全で快適に過ごしていただくためにハイキング道や観光トイレの維持管理に必要な経費である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効率的な維持管理を行っている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	観光施設として観光者に必要不可欠な施設である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	大江山や周辺を観光される方に安全で快適に過ごしていただくためのハイキング道や観光トイレの維持管理は必要である。大江山や周辺を観光される方に快適に過ごしていただくことによって、観光客の満足度を高めることができるため有効である。必要最小限の維持管理経費により施設の適正な運営を行っている。	
	今後の課題及び方向性	現状維持において施設管理を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所見 ・委託の実施状況について、一者随契というのはいかがなものか — 費用削減の余地がある → 市の計画・契約上ということならば、担当課と調整・協議することが必要() ・そもそも、支所がすべきものか → 今日的に言えば、観光戦略上の施設なので、ルート管理から誘客を戦略的に行う観点からDMOに移管すべき ・オノ神以外はDMOで持つ(管理する)ものではないか?トイレは観光客のための施設である ・年々、経費の増加が予想されるのでコスト縮減に向けて考えられたい ・オノ神の藤に対する補助は委託での方法を検討しては		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	・DMOへの施設移管について、海の京都DMO福知山地域本部と協議する。 ・コスト縮減に向け、施設の精査を行い、廃止も含め、方向性を検討する。 ・オノ神の藤に対する補助金は、H31年度予算から委託に組み替える。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	「森の京都 福知山」夜久野高原花回廊整備事業			230281	担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成26(2014)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	衣川 正彦	
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料		92	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	森の京都福知山マスタープラン			
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	道の駅「農匠の郷やくの」を中心に、既存の緑化センターや放光院(茶堂)、やくの玄武岩公園などの観光スポットを繋ぎ「石仏八十八か所巡りルート」を含む「夜久野高原花回廊」を整備して夜久野高原観光施設のネットワーク化を進め、観光客及び交流人口の増加と滞在時間の延長を図る。							
	対象者	観光客及び市民		対象者数	159,000		一人当たりコスト	0.02	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 ㈱西本							
	事業概要	平成25年度の花回廊検討委員会の提言に基づき、道の駅農匠の郷やくの及びその前面道路「市道中央線」に花木を植栽し花回廊整備を行う。 ・平成26年度 道の駅「農匠の郷やくの」内の回遊道路にヤエベニシダレザクラ他の植栽 ・平成27年度 道の駅「農匠の郷やくの」前面道路(市道中央線)東側約365mにテルテモモ植栽 ・平成28年度 道の駅「農匠の郷やくの」前面道路(市道中央線)西側約260mにテルテモモ植栽 ・平成29年度 道の駅「農匠の郷やくの」前面道路(市道中央線)西側約46mにテルテモモ植栽							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費	
		工事請負費		市道中央線 植栽 テルテモモ 7本				521	
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		3,167	735	0	0		
		補正予算等・・・②		11	0	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源		1,595	368	0	0	
			国支出金		0	0	0	0	
			府支出金		1,583	367	0	0	
			地方債		0	0	0	0	
			その他特財		0	0	0	0	
	特定財源名称 (H29実績)		「もうひとつの京都」市町村景観整備支援事業費交付金		260	府補助金	22 頁		
							頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.22/0	0.23/0	0/0	/			
	概算人件費・・・④		1,760	1,840	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,938	2,575	0				
執行状況	執行額・・・⑥		2,493	521					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		78.4%	70.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		道の駅農匠の郷やくの入込客数	千人	141/159	142 /159	/	159		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		花回廊花木植栽進捗状況	m	660/660	706/910	/	1450		
		単位あたりコスト		3.8	0.7				
				/	/	/			
単位あたりコスト		0.0	0.0						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・京都府の地域主導型公共事業(府道上夜久野停車場線拡幅)として、地域と連携し取り組んでいく事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・植栽後の管理は地元住民で行う。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	・夜久野高原に新たな観光ポイントが作られることにより、既存の資源を活かすと同時に滞在時間の延長等により観光消費の増加が期待できる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	花回廊の全体整備計画を変更し完成年度は遅れることとなったが、年度ごとは計画通り完成できている。また、京都府の府道拡幅工事においても当初より遅れている。そのような状況の中入込客数増加の評価が困難な状況である。		
	今後の課題及び方向性	<p>地域主導型公共事業採択にあたり、拡幅される府道へ地元住民と共に花木の整備を行うこととなっており、花回廊整備事業と合わせて協議を進める必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元住民と連携し夜久野高原の観光を結ぶ「花回廊」を整備する。</li> <li>・京都府の府道拡幅工事の進捗状況にあわせて進めて行く。</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	所 見			
	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的なPRの実施方法を検討・実行する必要がある。</li> <li>・地域の活性化のためにも、本事業の採算性をとるためにも、今後も努力に期待。</li> <li>・PRの必要性。単に植えて終了となっていないか。活用するしきみを考える必要があるのでは。</li> <li>・今後も継続実施していくのであれば、PRも兼ねてクラウドファンディングの活用することはできないかなども検討していただきたい。</li> <li>・地域で管理ができないかの協議が必要。</li> <li>・花回廊の存在を多くの人に知ってもらい活用いただくため、市ホームページや観光パンフレット等での効率的な広報方法を検討いただきたい</li> <li>・事業の目的はわかるが、大きくなる木なら将来の維持管理について関係部署(道路河川課)と調整を。市街地ではなくしていく方向であり、街路樹が必要なのか？</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<p style="text-align: center;">方針区分</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替</p> <p><input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し</p> <p><input type="checkbox"/> 事業の見直しなし</p>	<p style="text-align: center;">内 容</p> <p>○京都府地域主導型公共事業の府道上夜久野停車場線道路拡幅工事にあわせて花木の整備を行う事業であり、府工事の進捗状況にあわせて進めて行く。</p> <p>○事業名を「森の京都 福知山」夜久野高原花回廊整備事業を「地域主導型花木植栽整備事業」に変更し、次年度以降の実施を検討する。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<p>予算額の反映状況(対H30)</p> <p><input type="checkbox"/> 維持    <input type="checkbox"/> 組替</p> <p><input type="checkbox"/> 縮減    <input type="checkbox"/> 廃止/休止</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p>	<p style="text-align: center;">担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】</p>	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	玄武岩公園用地整理事業 (230282)			担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成22(2010)	終了予定年度	平成31(2019)	作成責任者	衣川 正彦		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 地域交流推進費	決算附属資料	92	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	やくの玄武岩公園は、夜久野高原における「宝山公園」、「道の駅農匠の郷やくの」等を結ぶ観光施設のひとつであるが、その用地は小倉自治会から無償で借り受け市で管理している状況である。将来に向け安定的に公園を維持管理するために用地を取得し、公園条例を制定する。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	不明	一人当たりコスト	-		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 京都公共嘱託登記土地家屋調査士協会						
	事業概要	平成25年度に業務委託した用地調査を基にし、公園用地の境界確定を行う。 ○平成29年度より事業名を「玄武岩公園活性化事業」から「玄武岩公園用地整理事業」に変更した。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		やくの玄武岩公園境界確定業務		地権者立会い19筆			4,207	
関連事業	玄武岩公園管理事業(夜久野支所)							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		2,000	6,000	1,000	1,000	
		補正予算等・・・②		△ 37	0	0	0	
	繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		1,963	1,000	0	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		0	5,000	1,000	1,000	
		特定財源名称 (H29実績)	過疎地域自立促進基金繰入金			4,206	基金繰入金	38 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.30/0	0.12/0.25	0.12/0.25	/	
概算人件費・・・④		2,400	1,585	1,585				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			4,363	7,585	2,585			
執行状況	執行額・・・⑥			1,963	4,207			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	70.1%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		公園用地取得	件	0 / 1	0 / 1	0 / 1	1	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		境界確定状況	筆	11/16	19/19	/5	44	
		単位あたりコスト		178.5	221.4			
		単位あたりコスト		0.0	0.0			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	やくの玄武岩公園は地元から無償で借り受けて管理している状況であり、将来に渡り継続的に維持管理するには市の所有とすることが必要であり地元も要望している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	境界確定の業務にかかる経費は共通単価となっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	将来に渡り継続的に公園管理を実施していくことは地元の要望事項であり、公園用地については地元から無償提供の内諾を得ている。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成22年度から玄武岩公園活性化事業として、公園の修景整備を実施し、平成24年度には、拡張計画も作成したが、用地調査により用地確定に時間と経費がかさむことが判明し、現在は計画を見直し既存公園用地の確定・取得を目的としている。	
	今後の課題及び方向性	平成30年度より単年度予算額を平準化し、玄武岩公園用地整理を継続し、公園用地を取得後、公園設置条例を制定する。 今後も公園の適正な維持管理を行うなかで、集客増加と地域振興につなげて行く。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○玄武岩公園は、用地を地元から無償で借り受け、市が管理している。この用地を市の所有とするために、現在「玄武岩公園用地整理事業」により境界確定を進めており、平成31年度に完了する計画としている。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		



平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三段池公園ユニバーサル化事業			530206	担当課	都市計画課			
	開始年度	平成29(2017)		終了予定年度	平成31(2019)		作成責任者	丸山 政幸		
	歳出費目	款) 土木費	項) 都市計画費	目) 公園施設費	決算附属資料		202・204	頁		
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等					
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等		バリアフリー新法			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山市の観光拠点である三段池公園の各施設整備を行うことで、利便性が向上し、誰もが快適に利用できる空間を提供できることを目的とする。 さらに、2021年にワールドマスターズの開催も決定していることから、スポーツ大会やイベントでの公園活用の増加も目的としている。								
	対象者	市民及び観光等による本市への来客数		対象者数	1,000,000		一人当たりコスト	0.03		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>								
	事業概要	・三段池公園内のトイレの洋式化 ・多言語案内サインの設置								
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容					H29経費	
		役務費		建築確認申請手数料等					42	
工事請負費		第1駐車場・テニスコート屋外便所改修工事					27,245			
関連事業	三段池公園カルチャーパーク整備事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求			
	事業費	当初予算・・・①		0	27,000	7,200	16,000			
		補正予算等・・・②		0	287	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0	0			
		財源内訳	一般財源		0	487	80	800		
			国支出金		0	0	0	0		
			府支出金		0	0	0	0		
			地方債		0	25,800	6,800	15,200		
			その他特財		0	1,000	320	0		
	特定財源名称 (H29実績)	旧合併特例債		25,800		市債	50 頁			
		三段池公園ユニバーサル化事業基金繰入		1,000		基金繰入金	40 頁			
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.25/0.03	0.25/0.03	/			
		概算人件費・・・④		0	2,075	2,075				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	29,362	9,275					
執行状況	執行額・・・⑥		0	27,287						
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	100.0%						
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		公園内便所洋式化率	%	/	56/56	/63	/63			
		三段池公園利用者数	人	/	362,188/505,000	/507,000	/510,000			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標			
		改修工事	箇所	/	2/2	/1	/			
		単位あたりコスト		-	13,643.5					
単位あたりコスト										

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	誰もが快適に利用できる空間作りはニーズの高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	限られた予算の中で確実に必要な項目を選択して施工している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	トイレ洋式化は利用者の観点から考慮しても有効性が高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	△	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	誰もが快適に利用できるようにトイレの洋式化から着手し、利用率の高いトイレが結果的に美装化することもでき、利便性と快適性がアップしている。	
	今後の課題及び方向性	三段池公園内において、特に利用者の多いトイレで、洋式化を行っていない箇所から改修を行ってきたが、誰もが快適に利用できるようにするためには、多言語案内板や利用料金の決済方法などさらに視野を広げていく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・単に洋式化するのみならず、ユニバーサルトイレの設置についても同時並向で進めるように → 基準を満たしていても、実際に身障者の方にとっては使いづらいものがある。三段池の既存トイレにもそれが見られる。</li> <li>・大規模な施設なので財源を有効活用しながら、計画的に進められたい</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<b>方針区分</b>  <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<b>内 容</b>  ワールドマスターズゲームズ2021関西をはじめとした国際大会にも対応できるよう、三段池公園をユニバーサル化する。平成30年度に引き続き、三段池公園内のトイレの改修を行うとともに、2ヶ国語対応の看板を設置し、ユニバーサル化を進める。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)  <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	福知山城公園観光駐車場管理運営事業 (650312)			担当課	産業観光課		
	開始年度	平成15(2003)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	前田 剛		
	歳出費目	款) 商工費	項) 商工費	目) 観光費	決算附属資料	190	頁	
	施策の大綱	観光業の振興			関連計画等	-		
	施策名	観光施設・交流施設を充実させる			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	福知山城公園観光駐車場の管理・運営を行う。福知山市郷土資料館・佐藤太清記念美術館などの来館者に駐車場を提供する。						
	対象者	観光客及び市民	対象者数	946,618	一人当たりコスト	0.01		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 ㈱ヒューマンビス(公社)福知山シルバー人材センター						
	事業概要	駐車場及びトイレの維持管理。 平成29年度は駐車場整備工事を実施。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		工事請負費		駐車場整備工事			2381	
需用費		電気代、水道代等			567			
委託料		トイレ清掃業務、警備業務			517			
役務費		廃棄物手数料			64			
補償、補填及び賠償金		電気設備等の移転補償			38			
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算…①		950	4,015	1,089	1,079	
		補正予算…②		116	171	0	0	
		繰越し等…③		0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源		△ 1	171	0	0	
		国支出金		0	0	0	0	
		府支出金		0	0	0	0	
		地方債		0	0	0	0	
		その他特財		1,067	4,015	1,089	1,079	
		特定財源名称 (H29実績)		公共施設総合管理基金繰入金		2,381	基金繰入金	40 頁
			郷土資料館入館料		1,187	使用料	8 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.06/0	0.15/0	0.15/0	/	
概算人件費…④		480	1,200	1,200				
総事業費(①+②+③+④)…⑤			1,546	5,386	2,289			
執行状況	執行額…⑥			1,066	3,567			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			100.0%	85.2%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		観光入込客数	人	922,951/940,000	946,618 /960,000	/980,000	1,000,000	
	福知山城入館者数	人	39,671/37,000	38,500/38,500	/38,500	42,000		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		警備日数	日	3/3	3/3	/3	3	
		単位あたりコスト			355.7	1,189.0		
			/	/	/			
単位あたりコスト								

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	福知山城やまちなか観光の基点となる施設として管理する必要がある
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	現在は受益者負担を求めず無料駐車場として提供
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	無人駐車場であり、利用者数等は把握できていない
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	○駐車場の拡充により福知山城(郷土資料館)や佐藤太清記念美術館を訪れる観光客の利便性向上に寄与した。	
	今後の課題及び方向性	○繁忙期(春期・秋季)や、ゆらのガーデンのイベント時には満車になりやすいため、更なる駐車場確保の検討が必要である。 ○常駐で管理者を設置していないため、夜間の長時間駐車やトイレ内の破損等が発生している。 ○事業棚卸しの指摘を反映して、福知山城の入館者数を成果指標に加えた。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○まちあるきマップ等に駐車場を明記し、問い合わせの際には案内している。 ○駐車場は現在、福知山城のみならず、車で本市に来られた方の中心市街地のまちあるき観光の拠点と位置づけられている。 ○福知山城入館者を成果指標に加える。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		